



平成24年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年11月8日

上場取引所 東

上場会社名 中越パルプ工業株式会社

コード番号 3877 URL <http://www.chuetsu-pulp.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 原田 正文

問合せ先責任者 (役職名) 管理部長

(氏名) 松元 孝夫

TEL 0766-26-2404

四半期報告書提出予定日 平成23年11月14日

配当支払開始予定日

平成23年12月1日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第2四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第2四半期	50,954	0.7	1,365	19.9	1,283	46.2	484	—
23年3月期第2四半期	50,611	2.3	1,138	△10.6	877	△5.3	17	△95.8

(注) 包括利益 24年3月期第2四半期 332百万円 (—%) 23年3月期第2四半期 △356百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第2四半期	4.16	—
23年3月期第2四半期	0.15	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
24年3月期第2四半期	133,247	49,645	37.2	425.80
23年3月期	136,209	49,664	36.4	425.96

(参考) 自己資本 24年3月期第2四半期 49,591百万円 23年3月期 49,611百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	3.00	—	3.00	6.00
24年3月期	—	2.00	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	2.00	4.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	100,000	△3.7	2,800	31.6	2,500	47.2	1,100	246.8	9.44

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

24年3月期2Q	116,654,883 株	23年3月期	116,654,883 株
24年3月期2Q	187,201 株	23年3月期	184,772 株
24年3月期2Q	116,469,220 株	23年3月期2Q	116,477,150 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、本資料の発表日現在において入手可能な情報及び当社が合理的であると判断した一定の前提に基づいた見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の実績等は、今後様々な要因の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。

なお、業績予想に関する事項については、四半期決算短信(添付資料)3ページの「1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報(3) 連結業績予想に関する定性的情報」をご参照ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(その他)に関する情報	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	7
四半期連結包括利益計算書	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 継続企業の前提に関する注記	10
(5) セグメント情報等	10
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	10
(7) その他の注記事項	11

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の発生に伴う企業活動の停滞及び生産や物流の混乱から回復に転じたものの、米国経済や欧州金融市場の先行き不透明に起因した歴史的円高の進行が加速する中、国内でも夏季の電力供給制限や雇用環境の低迷が続くなど、企業を取巻く環境は景気の下振れリスクを抱えた状態のまま推移しました。

紙パルプ業界におきましても、印刷情報用紙を中心に需要は低調なまま推移し、IT化の進展が続くなか、円高による輸入紙の増加もあり、国内出荷は前年割れが続く厳しい状態となりました。

このような状況下で当社グループは、将来にわたって存在し続ける強い企業を目指す事を目的とした、全グループ従業員参加型のコスト削減対策【プラス30計画】の必達に向けての取組みに注力してまいりました。また、需要に見合った生産体制の再構築・効率的な操業体制構築のため、川内工場の8号抄紙機を停止するなど、低操業下でも収益の出せる企業体質の改善に努めてまいりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の業績は下記のとおりとなりました。

連結売上高	50,954 百万円	(前年同四半期比 0.7%増)
連結営業利益	1,365 百万円	(前年同四半期比 19.9%増)
連結経常利益	1,283 百万円	(前年同四半期比 46.2%増)
連結四半期純利益	484 百万円	(前年同四半期比 467 百万円増)

(紙・パルプ製造事業)

◎ 一般洋紙

新聞用紙の販売は、東日本大震災の影響による広告出稿数の減少等もあり、数量・金額とも減少しました。

印刷情報用紙の販売では、東日本大震災の影響等により需要は低調に推移したものの、チラシやカタログ、パンフレット等の商業印刷向け塗工紙等を中心に、数量・金額とも若干の増加となりました。価格につきましては弱含みにて推移しました。

◎ 包装用紙

包装用紙の販売は、景気低迷による需要の減少があったものの、新規取引先の開拓による数量確保等もあり、数量・金額ともほぼ横ばいでした。価格につきましては弱含みにて推移しました。

◎ 特殊紙・板紙及び加工品等

壁紙・カップ用原紙・板紙とも需要回復の兆しが見られない中で、新規需要先の開拓、拡販に努めた結果、数量・金額とも増加いたしました。価格につきましては弱含みにて推移しました。

これらにより、当事業の業績は下記のとおりとなりました。

連結売上高	44,939 百万円	(前年同四半期比 1.4%増)
連結営業利益	995 百万円	(前年同四半期比 44.6%増)

(その他)

紙加工品製造事業は数量・金額とも減少し、運送事業、建設事業につきましても各工場の停止期間が重なったことなどもあり、低調に推移しました。

これらにより、当事業の業績は下記のとおりとなりました。

連結売上高	16,111 百万円	(前年同四半期比 2.4%減)
連結営業利益	314 百万円	(前年同四半期比 20.4%減)

(2)連結財政状態に関する定性的情報

(総資産)

現金及び預金が441百万円増加、繰越欠損金にかかる繰延税金資産を長期から短期へ振り替えたことなどの影響でその他流動資産が1,520百万円増加したことなどにより、流動資産は前連結会計年度末に比べて2.7%増加し、45,252百万円となりました。また、有形固定資産が3,009百万円減少したことなどにより、固定資産は4.5%減少し、87,995百万円となりました。

この結果、総資産は、前連結会計年度末に比べて2.2%減少し、133,247百万円となりました。

(負債)

流動負債は短期借入金が1,967百万円減少したことなどにより前連結会計年度末に比べて4.6%減少し、57,919百万円となり、固定負債は長期借入金が99百万円減少したことなどにより0.7%減少し、25,682百万円となりました。

この結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べて3.4%減少し、83,601百万円となりました。

(純資産)

純資産合計は、前連結会計年度末に比べて18百万円減少し、49,645百万円となりました。主な増加は、四半期純利益484百万円であり、主な減少は、配当金の支払349百万円、株式市場の低迷によりその他有価証券評価差額金が129百万円減少したことなどによります。また自己資本比率は、前連結会計年度末に比べて0.8%増加し、37.2%となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は4,895百万円(前第2四半期連結累計期間比1,013百万円の減少)となりました。

これは主として、減価償却費5,357百万円によるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は2,019百万円(前第2四半期連結累計期間比1,308百万円の減少)となりました。

これは主として、有形固定資産の取得による支出2,180百万円によるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は2,433百万円(前第2四半期連結累計期間比352百万円の増加)となりました。

これは主として、長期借入金の返済3,868百万円、短期借入金の純増減2,399百万円、配当金の支払347百万円による支出と長期借入れによる収入4,200百万円によるものです。

(3)連結業績予想に関する定性的情報

平成23年5月11日付にて発表しました業績予想を修正致しました。詳細につきましては、本日発表の別紙「特別利益の発生、特別損失の発生及び平成24年3月期第2四半期累計期間業績予想との差異、通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

2. サマリー情報(その他)に関する事項

(1)当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

(2)四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

① 棚卸資産の評価方法

当第2四半期連結会計期間末の棚卸高の算出に関しては、一部実地棚卸を省略し、前連結会計年度末の実地棚卸高を基礎として合理的な方法により算定する方法によっております。

また、棚卸資産の簿価切下げに関しては、収益性の低下が明らかなものについてのみ正味売却価額を見積り、簿価切下げを行う方法によっております。

② 固定資産の減価償却費の算定方法

固定資産の減価償却費の算定方法のうち、定率法を採用している資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

③ 法人税等並びに繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

法人税等の納付税額の算定に関しては、加味する加減算項目や税額控除項目を重要なものに限定する方法によっております。

繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前連結会計年度末以降に経営環境等、かつ、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められる場合には、前連結会計年度において使用した将来の業績予想やタックス・プランニングを利用する方法によっております。また、前連結会計年度末以降に経営環境等、又は、一時差異等の発生状況に著しい変化が認められる場合には、前連結会計年度において使用した将来の業績予想やタックス・プランニングに当該著しい変化の影響を加味したものを利用する方法によっております。

(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,210	1,652
受取手形及び売掛金	27,599	27,283
有価証券	19	19
商品及び製品	7,361	6,917
仕掛品	726	706
原材料及び貯蔵品	5,045	5,065
その他	2,098	3,618
貸倒引当金	△10	△10
流動資産合計	44,051	45,252
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	49,003	49,495
減価償却累計額	△27,250	△27,739
建物及び構築物（純額）	21,753	21,756
機械装置及び運搬具	238,091	237,222
減価償却累計額	△185,902	△187,538
機械装置及び運搬具（純額）	52,189	49,683
その他	12,184	11,756
減価償却累計額	△2,278	△2,356
その他（純額）	9,905	9,399
有形固定資産合計	83,848	80,839
無形固定資産		
その他	187	185
無形固定資産合計	187	185
投資その他の資産		
投資有価証券	5,324	5,165
その他	2,973	1,977
貸倒引当金	△176	△172
投資その他の資産合計	8,121	6,970
固定資産合計	92,158	87,995
資産合計	136,209	133,247

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	13,098	12,939
短期借入金	39,768	37,800
未払法人税等	196	160
賞与引当金	620	608
その他	7,001	6,410
流動負債合計	60,686	57,919
固定負債		
社債	6,000	6,000
長期借入金	15,193	15,093
退職給付引当金	4,152	4,106
負ののれん	89	60
その他	424	422
固定負債合計	25,859	25,682
負債合計	86,545	83,601
純資産の部		
株主資本		
資本金	17,259	17,259
資本剰余金	14,654	14,654
利益剰余金	17,455	17,591
自己株式	△43	△43
株主資本合計	49,327	49,462
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	283	154
繰延ヘッジ損益	—	△25
その他の包括利益累計額合計	283	129
少数株主持分	53	54
純資産合計	49,664	49,645
負債純資産合計	136,209	133,247

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
売上高	50,611	50,954
売上原価	40,429	41,095
売上総利益	10,182	9,859
販売費及び一般管理費		
運搬費	2,898	2,892
販売手数料	3,508	3,324
保管費	837	619
その他	1,798	1,656
販売費及び一般管理費合計	9,043	8,493
営業利益	1,138	1,365
営業外収益		
受取利息	2	1
受取配当金	82	79
負ののれん償却額	33	28
その他	107	168
営業外収益合計	225	277
営業外費用		
支払利息	324	267
その他	162	92
営業外費用合計	487	360
経常利益	877	1,283
特別利益		
投資有価証券売却益	72	149
特別利益合計	72	149
特別損失		
固定資産除却損	245	565
特別退職金	12	27
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	162	—
投資有価証券評価損	306	16
その他	8	2
特別損失合計	735	611
税金等調整前四半期純利益	214	820
法人税、住民税及び事業税	186	147
法人税等調整額	8	186
法人税等合計	195	333
少数株主損益調整前四半期純利益	19	486
少数株主利益	1	1
四半期純利益	17	484

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	19	486
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△356	△129
繰延ヘッジ損益	△18	△25
その他の包括利益合計	△375	△154
四半期包括利益	△356	332
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△357	331
少数株主に係る四半期包括利益	0	1

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	214	820
減価償却費	5,403	5,357
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	1	△3
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	△54	△45
受取利息及び受取配当金	△84	△81
支払利息	324	267
投資有価証券売却損益 (△は益)	△72	△149
固定資産除却損	98	530
投資有価証券評価損益 (△は益)	306	16
売上債権の増減額 (△は増加)	727	315
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△191	445
その他の資産の増減額 (△は増加)	△349	△805
仕入債務の増減額 (△は減少)	570	△159
賞与引当金の増減額 (△は減少)	13	△12
その他の負債の増減額 (△は減少)	△467	△1,254
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△171	△41
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	162	—
その他	△25	△33
小計	6,407	5,167
利息及び配当金の受取額	84	81
利息の支払額	△365	△266
法人税等の支払額	△218	△86
営業活動によるキャッシュ・フロー	5,908	4,895
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△3,589	△2,180
有形固定資産の売却による収入	2	19
投資有価証券の取得による支出	△6	△105
投資有価証券の売却による収入	173	182
短期貸付金の純増減額 (△は増加)	17	△7
その他	74	72
投資活動によるキャッシュ・フロー	△3,328	△2,019
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	554	△2,399
長期借入れによる収入	2,200	4,200
長期借入金の返済による支出	△4,454	△3,868
社債の発行による収入	1,982	—
社債の償還による支出	△2,000	—
自己株式の取得による支出	△0	△0
配当金の支払額	△349	△347
少数株主への配当金の支払額	△0	△0
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△10	△16
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,080	△2,433
現金及び現金同等物に係る換算差額	△7	△1
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	492	441
現金及び現金同等物の期首残高	1,477	1,210
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,970	1,652

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

[セグメント情報]

I 前第 2 四半期連結累計期間 (自 平成 22 年 4 月 1 日 至 平成 22 年 9 月 30 日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント	その他	調整額	合計
	紙・パルプ 製造事業			
売上高				
(1) 外部顧客への売上高	42,259	8,352	—	50,611
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	2,046	8,161	△10,208	—
計	44,306	16,514	△10,208	50,611
セグメント利益(営業利益)	687	395	55	1,138

II 当第 2 四半期連結累計期間 (自 平成 23 年 4 月 1 日 至 平成 23 年 9 月 30 日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント	その他	調整額	合計
	紙・パルプ 製造事業			
売上高				
(1) 外部顧客への売上高	42,903	8,050	—	50,954
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	2,036	8,060	△10,096	—
計	44,939	16,111	△10,096	50,954
セグメント利益(営業利益)	995	314	55	1,365

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(7)その他の注記事項

(追加情報)

当第2四半期連結累計期間
(自 平成23年4月1日
至 平成23年9月30日)

第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」(企業会計基準第24号 平成21年12月4日)及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日)を適用しております。